

茨高
茨中

春 秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 安 隆 之
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



卒業おめでとう！

PTA会長 安 隆 之

「ご卒業、おめでとうございませう。皆さんが立派に卒業されることを心より嬉しく思います。皆さんは、入学からこれまで、勉強、部活動、課外活動等に一生懸命取り組んできたことと思います。楽しいことや、時にはうまくいかないことがあったかもしれませんが、その一つ一つの出来事が、皆さんにとって貴重な経験だったことでしょう。これまでのすべての経験が今日の皆さんを作り上げ、成長をさせてくれたのだと思います。」

さて、卒業は人生の節目の一つです。皆さんは、これまでの中学・高校でのステージを終え、新たなステージのスタートを切ることになります。そんな新たなステージのスタート台に立つ皆さんにいくつかアドバイスを送りたいと思います。

まず、「友人を大切に」してください。大人になってしまくと、なかなか一生の友人と呼べる人にはめぐり会えません。しかし、中学・高校時代の友だちは一生の友人になります。三年間又は六年間、同じ学校で青春の時間を過ごしたことで、学校時代の友人は一生の友人になります。友人は人生にとってかけがえのない財産です。卒業しても友人を大切にしてください。

次に、「大きな夢を持って、自分を信じて」ください。そのために具体的な夢や目標を持つようにしてください。これから

らの時間の過ごし方によって、皆さんの未来が変わります。時間を大切に使うてください。さらには、自分の可能性を信じてください。時には困難にぶつかることもあると思います。そんなときも決して自分の可能性を否定せず、自分自身を信用してください。

最後は、「努力」をしてください。努力しても必ず成功するとは限りません。しかし、努力した者にのみしかチャンスは訪れません。チャンスを手に入れたいのであれば、しっかりと努力をしてください。いっかか努力が報われるはずですよ。

皆さんの、これからの人生には無限の可能性が 있습니다。過去を変えすることはできませんが、未来は変えることができます。それができるのは皆さんだけです。それができるのは皆さんだけです。それができるのは皆さんだけです。

旅立つ将来に少しは不安もあるかもしれませんが、皆さんには本校で過ごした三年（六年）間という何にも代えがたい実績がありますから、己を信じて前進あるのみです。

これからの人生が皆さんにとって素晴らしいものとなるよう心より祈っております。

旅立つ将来に少しは不安もあるかもしれませんが、皆さんには本校で過ごした三年（六年）間という何にも代えがたい実績がありますから、己を信じて前進あるのみです。

これからの人生が皆さんにとって素晴らしいものとなるよう心より祈っております。

「耳をすませば」は、中学生の淡い恋を描いた作品であると同時に、どこにでもいる平凡な中学生が、自分とは何者なのかを問い、進むべき道を模索し葛藤する物語でもあります。その映画の中で重要な役割を果たすのが、雫が歌う「カントリー・ロード」です。

「カントリー・ロード」、正しくは「Take Me Home, Country Road」は、アメリカの歌手ジョ

ン・デンバーによって一九七一年に発表されました。オリジナルのカントリー・ロードは望郷の歌です。「天国のような故郷ウエスト・バージニア、ブルーリッジ山脈とシェナンドー河よ、そこでは昔ながらの生活がそよ風のように育まれている」という歌詞に続けて「Country road take me home To the place I belong (カントリー・ロードよ、私を故郷へ導いてくれ、私がいけるべきあの場所へ）」と歌いあげるこの曲は、世界中で大ヒットを記録しました。

「耳をすませば」の中で雫は、自分で作詞したカントリー・ロードを歌うのですが、その内容はオリジナルとはだいぶ異なります。現在も、合唱曲の定番として歌い続けられるこの曲の歌詞の一部を紹介します。「ひとりぼっち恐れずに／生きようと夢みてた／さみしさ押し込めて／強い自分を守って行こう／カントリー・ロード／この道ずっと行けば／あの街に続いている／気がするカントリー・ロード／：中略：／カントリー・ロード／この道ふるさとに続いて／僕らは行かないさ／行けないカントリー・ロード／カントリー・ロード／明日はいつもの僕さ／帰りたい帰れない／さよならカントリー・ロード」

雫はカントリー・ロードを、オリジナルとは真逆の、旅立ちの歌につくり変えました。この

道をずっと進んで行けば、憧れのあの場所に続いているかもしれない。そのわずかな希望だけを頼りに、若者は旅立ちます。振り返ればそこには、懐かしい故郷に通じる道があります。しかし、若者はその道に別れを告げ、未知の世界へと歩んでいくことを選択するのである。

人生には、大人へと成長する過程には、過去の自分と決別し、自分一人で、自分の足で旅立たなければならない時がやって来る。雫の澄んだ歌声は、決意と、勇気と、一抹の寂しさをのせて、聞く人の心に響くのです。

慣れ親しんだ学び舎を後にする、卒業生の諸君へ。今、君の前に一本の道が通っています。明日から君が歩んでいく道です。その道で君を待っているのは、成功や喜びだけではなく、挫折や失意、悲嘆や苦悩がいたるところに転がっています。しかし、もしも君がそれらから目をそらさず、リアルに對峙し、立ち向かい、自らが生きる証としてひとつ一つ積み重ねていくなら、それらはいつの日か、君という個性の一部となり、君を支える礎を築くはずですよ。

中学、高校で過ごした三年間は、そこで学んだ報恩感謝の教えは、君の中に結実し、これからは君とともにあり続けます。今こそ高らかに、旅立ちの歌を歌おう。

よい人生を歩んでください。卒業おめでとう。



高校卒業おめでとう

俯瞰的に見る力

高校三年学年主任

鯨井 章二



マスクだらけの入学式。埼玉を先行に選り、滞在時間よりも移動時間の方が長くなつてしまった初めての遠足。一年目から有志の多さに驚いた文化祭。パーティーションと黙食からの解放。一貫高入ごちゃ混ぜリレー。高二の遠足は大学博物館めぐり。本当に戻って来られるか心配でした。幻想的なディナークルーズ、個人的には姫路城が一番のお気に入り、みんなで行った研修旅行。前年は雪で中止になったため、最初で最後となったマラソン大会。弁論大会では演繹法と帰納法の違いを学びました。台風のようなエネルギーを感じた文化祭フィナーレ。そして、部活動引退からの受験モード本格化。

これからの君たちの人生でもまた色々なことがあるでしょう。

う。人生山あり谷ありと言うように楽しいことも苦しいこともあるでしょう。特に辛いときに思い出して欲しいのは、慌てず視点をズームアウトすること。問題が生じている瞬間は、とても乗り越えられそうにないと感じる高い山も、周りに助けを求めたり、時間が経って流れが変わったりすると、地球を宇宙から俯瞰的に見たときみたいに唯の平らな表面に感じられます。

卒業おめでとう。でもまた立派に輝いている君たちと会いたいんです。

卒業にあたって

高校三年B組担任

坂本 佳朗



ご卒業おめでとう。皆さんの茨高イブズをしつかり見せてもらいました。

文化祭やクラスマッチでは、全員が力を合わせ、一丸となつて取り組む姿に心を打たれました。全力で企画を立て、準備を重ね、本番で笑顔を輝かせていました。また、受験勉強や部活動においても、皆さんは真摯に努力を重ねてきました。どんなに苦しい時でも、自分の目標に向かい続けました。



高校卒業おめでとう

高校三年A組担任

坪井明日香



卒業おめでとう。皆さん。君たちはこれからそれぞれ新しい環境で新しい世界の扉を開きます。どうか、茨城高校で身につけた常識や経験は一旦全て忘れて、先入観なく柔軟に新しい体験を楽しんでください。世界は君たちが想像する以上に広く、深く、多様で、しかも変化し続けています。ぜひ、興味の向くままに歩み、見聞きしたものを吸収していつてくださ。そのうちに君たちは新しい世界の一員として、今はまだ想像もできないところへとたどり着くことになるでしょう。



卒業にあたって

高校三年C組担任

内田 裕史



卒業おめでとう。皆さん！高校生活を締めくくり、いよいよ新しい一歩を踏み出すときが来ました。人生は思ったよりも短く、時間は待つてくれません。「そのうちやろう」と考えている間に、せっかくのチャンスが過ぎてしまうこともあります。だからこそ、やりたいことがあるなら、迷わず今すぐ挑戦してみてください。その一歩が、きっと皆さんの人生をより豊かで有意義なものにしてくれるでしょう。

英語の教員として一言。ぜひ留学をして広い世界を見てください。短期間でも価値があります。





卒業する君たちへ

高校三年D組担任

原山 克也

キーホルダーが壊れた。一月十日のことだ。大切に使用してきたのだが、金具の部分が折れてしまった。卒業まで間もない時期に、突然壊れたものを目前にして、時の流れと寂しさを猛烈に感じてしまった。

このキーホルダーは、君たちが高校一年の文化祭の時、美術部で作ってもらったものだった。だから、君たちとの日々が突然過去のものとなったような気がし、加えて別れの日も間近だと強く意識してしまったのである。

時は流れ、物事は変化し、人は成長していく。キーホルダーは壊れたが、それだけ時間が経過



高校卒業おめでとう

高校三年E組担任

照山 友教

私の好きな歌の一節に「いつか忘れて記憶の中で死んでしまっても、それは幻じゃない」といったものがある。

ここでの生活は不安の連続だったに違いない。入学前・試験の前・大会の前・行事の前・人間関係などなど；でもきつと、その不安のほとんどはすでに忘れられていたのではないのか。足がすくむほどに恐怖を覚えたかもしれない不安を忘れてしまおうくらい、あなたは強くなった。いまのあなたは、数多くの不安を乗り越えた、眩しい光の結晶である。

一方、強く心に残るピカピカ

光る思い出もあろう。私なら、二〇〇人の二十五期生の前で誕生日を祝われることなど後にも先にもないから、一生忘れまい。

次の舞台に進もうとするあなたは、またすぐ新たな不安に見舞われる。これまでの不安よりも異質で鉄線のように鋭く感じるかもしれない。でも、ここを巣立ったあなたなら、心にしまった思い出とともにきつと乗り越えていける。そしてまだまだ遅くなる。

いずれ、いま以上に大人になったあなたと、互いの思い出とともに乾杯したいものだ。げんきでね



人間万事塞翁が馬

高校三年F組担任

廣光 正人

私は小学校三年生のときに公文式で算数を習い始めた。友達と遊ぶ時間が少なくなるので辞めたいと母に言っても辞めさせてもらえなかった。まさか、これが将来の職業になるとは思わなかった。五年生でキャプテンの影響を受けてサッカーを始めた。大学一年生まで続け、その時に鍛えたことで今でも年齢の割に体力には自信がある。東京で生まれ育ち、大学四年生の時、東京都の教員採用試験を受けた。採用枠がほとんどなく、高校数学は採用枠一名に対して二・三〇名が受験した。一次試験は合格したが、二次試験で落ち



祝 卒業

高校三年G組担任

小林 秀樹

卒業おめでとうございます。この学年で二年間、クラス担任を務めさせていただきました。高校二年生の春の遠足や研修旅行、高校三年生の大学受験など、皆さんと過ごした日々が次々と思い出されます。楽しいことも、つらいことも経験したことでしょう。そのすべてが、皆さんの人生における大切な財産となり、自分を築き上げる糧になっています。これから、それぞれの道で新たな挑戦が待っています。期待や不安が入り混じる中でも、自分を信じ、夢に向

かつて一歩ずつ進んでください。どんなに小さな一歩でも、それが未来を切り拓く力となります。また、友人や家族、これまで支えてくれた人々への感謝を忘れず、その絆を大切にしてください。最後に、皆さんの元気な姿や学業、行事に真剣に取り組む姿勢から、多くの励ましをいただきました。本当に感謝しています。これからの皆さんの未来が希望に満ちたものとなることを心より願っています。卒業、本当におめでとうござい

ます。



先生からのメッセージ



高校三年学年付 鈴木普慈夫
ご卒業おめでとうございます。入学から三年間で得た経験や学びを糧に、新たな道で大きく羽ばたいてください。これから、自分の夢、進むべき道、そして挑戦する勇気を大切にしてください。茨城高校の誇りを胸に、困難にも負けず前向きに進んでいくことを願っています。たまには母校を思い出して、顔をみせに来てくれると嬉しいですね！



高校三年学年付 渡辺 郁
高校三年生のフロアを覗くと、毎日遅くまで教室に残って必死に勉強している人達がたくさんいます。その姿に日々、心の中で声援を送っていました。自分が何者かになるため、何かを得るための努力は卒業後も続きますが、茨城高校で培ったものがきつと役に立つことでしょう。これからも応援しています。卒業おめでとう。



卒業おめでとう。
ノブレス・オブリージュ(高い社会的地位には義務が伴う)という言葉をご存じに贈りましょう。恵まれた能力を、将来世の中や周囲の人たちのために発揮して活躍してくれることを期待しています。それこそ「報恩感謝」です。一生を終えて後に残るのは、我々が集めたものではなく、人に与えたものである。



高校三年学年付 加倉井 東
貝寄風や、すべてし終えし 海の色
徒然草に「もののはれは秋こそにて、今一きは心の浮き立つものは春の景色にこそあめれ」とある。そうなのだろうが、そうでない人もいっただろう。思い通りになんでも出来る浮き立つ気持ちを、ぜひみんなが一度味わって欲しいものだ。



高校三年学年付 塚田 万葉
ご卒業おめでとうございます。あつという間の一年間、鯨井学年に入れたよかったなあと心から思います。自分自身と向き合い成長していく姿や、部活動で仲間と切磋琢磨し目標に向かっていく姿、他愛もない会話で笑いあっているみんなを見て、時間が大好きでした。たくさん元氣と勇氣をありがとう、身体大事にね。Good luck !!

～高校卒業にあたって～



高校三年A組 相川 実潤
この前入学したばかりなのに卒業はとても寂しいです。今思えば、茨城高校に入れた三年間を温かな校舎で過ごせた僕はとても幸せ者です。まさかこの三年間でコナンをやることになるとは思いませんでした。たくさん悩んだけれどそれでも一歩ずつ前へ進んだ経験は一生の思い出です。最後に僕に先生という夢を与えてくださった茨城高校の先生方、一緒にいるだけで笑って過ごせた友達へ、ありがとうございました。茨高の皆愛してるぜ！



高校三年B組 戸崎 千尋
期待と不安が入り混じった気持ちで茨高の校を見上げた日から、もうすぐ三年。仲間と必死に勉強に励んだ日々や、協力し合った文化祭にクラスマッチ、そして友人たちとお腹の底から笑いあった一瞬一瞬は私にとってかけがえのない宝物となりました。この思い出を胸に報恩感謝の精神を忘れず、これからも歩みを進めていきたいと思えます。お世話になった全ての方々に心から感謝申し上げます。三年間、本当にありがとうございました。



高校三年C組 新堀 心優
三年間同じ仲間たちと、内田先生。変化がないようで毎日が新しく、刺激を受けて過ごしてきました。英語が苦手ながらもこのコースで学び、やりがいと挑戦することの大切さ、面白さを身にしみて感じる事ができました。春秋に富む我ら一同が、これからも日々精進していけたらと思います。



高校三年D組 伊橋 孝亮
この学校に入學した日がつい最近のように感じられるほど、あつという間で、楽しかった六年間。コロナで中止となつてしまった行事が沢山ありましたが、少しずつ通常に戻り、今でしかできない貴重な経験をする事ができました。その中でも、困難なことに対し決して諦めないということを学びました。自分達をご指導頂いた先生方、共に学び、共に励まし合った友達には感謝の気持ちでいっぱいです。六年間有難う御座いました。



高校三年E組 西 杏樹
振り返ると、この茨城高で過ごした六年間は本当に濃密なものでした。多くの人に出会い、新たな挑戦をし、努力し続ける大切さを学びました。そして、最高に楽しかった時、困難に直面した時、壁を乗り越えた時、どんな瞬間も友人たちが側に居てくれました。友人の存在無く、こんなに楽しい学校生活を送ることはできなかつたと思います。特に今年は本当に充実した毎日でした。先生方にも何度か支えていただき、二十五年生の生徒になることができ、良かったです。心から感謝いたします。



高校三年F組 久保 樹哉
茨城高校で三年間を過ごして僕は大きく前に進むことができたと思います。辛いときや苦しいときも前を向いて諦めずにやってこれました。それは自分の家族や先生方、そして共に過ごした仲間たちのおかげです。来年から僕は大学生として夢を叶えるために前へ進みます。大学では自分の夢を叶え、沢山の人の感謝を伝えることができるような大人になれるように HOUN KANSYA の気持ちを忘れずに前へ進んでいきたいです。



高校三年G組 荒川 由衣
人生の三分の一を過ごしたこの校舎での思い出は数え切れないほど多く、未だに卒業の実感が湧いていないためか、まだひとつふたつと思いつくことができるのではないかと思ってしまう。早く卒業したいと思っていた高校一年生のころとは一転し、卒業を名残惜しく思う私がいる。友達と過ごす休み時間、大好きな化学の授業を楽しみに登校した日、友達と受験勉強に励んだクリスマスもすべてが青春そのもので楽しかった。お世話になった先生方や家族には感謝してもきれない。ありがとうございました。



中学卒業おめでとう



中学三年学年主任
佐藤 麻希絵

人生は迷いの連続です。二つを同時に選ぶ、ということは、できる場合もあるけれど、できない場合もありますよね。だから「選択」が重要になってきます。その際最終的には「自分で決める」のが何よりも大切だと思います。「自分で決める」のは大変な面もありますが、それは「自由」だということでもあります。そう考えると、楽しみななってきませんか？これからみなさんは、どんな生き方を選んでいくのでしょうか？

一人ひとりが、自分の人生の主人公です。つらいこともあるかもしれませんが、腕の見せ所、行動していくかが、腕の見せ所。みなさんならきつと、いい方に進んで行けます。二十八期生は、いろいろな個性の集まりです。優しい人。面白い人。細かいところまで気がつく人。おもしろい人。得意なことと、苦手なことがそれぞれ違って来られたので、今まで補い合って来られたのだと思います。このメンバーで本当によかった！

先ほど、人生の選択では、二つを同時に選べないことがある、と書きましたが、「どんな人」でありうるかは、実は、二つどころか、同時にいろいろな面を選択することができます。自分、一つの枠に押し込めずに、ぜひ、のびのびといろいろな面を発揮してってください！卒業おめでとうございます。



中学三年A組担任
安達 紘人

雨予報が快晴に「中一茂木遠足」伝承館で貴重な学びを「中二福島遠足」過酷な磐梯山登山「林間学校」、東大で合格体験講話「中三東京遠足」、最後の年は晴天フル日程「体育祭」机の上では学べないものがある「部活動」全十八回「定期試験」毎年二度ヒヤヒヤ「三者面談」、担任が一番本気「クラスマッチ」「合唱大会」、あの日々に戻りたい「研修旅行」…。

素敵な思い出を胸に、たくさんの成長を糧に、今後も歩んでいこう。

卒業おめでとうございます。



中学三年C組担任
金子 泰子

二十八期生のみなさん卒業おめでとう。林間学校でもらった親からの手紙、最上級生として大変だったけれど絆を深めた体育祭、一四五人全員で帰って来られた奈良・京都の研修旅行、心をひとつにして歌った合唱発表会など、みんなと喜びや感動を分かち合ったり一緒に笑ったりした日々。「生きていくなあ」と実感する三年間でした。本当にありがとう。これからも、情熱をもって物事に取り組む愛情をもって人と接し、どんなときにも笑顔を忘れず、一步一步進んでいって下さい。



中学三年B組担任
フルニエ・ドミニク

中学校卒業おめでとうございませう！これまで皆さんが中学校生活で成長し達成してきたことを、とても誇りに思っています。高校に進むこれからは、常に好奇心を持ち、努力を惜しまず、自分を信じ続けてください。皆さん一人ひとりには素晴らしい可能性があります。これから皆さんがどんなことを成し遂げるのか、とても楽しみにしています。次のステージでの成功と幸せを心から願っています！



中学三年D組担任
岡部 将也

ご卒業おめでとうございませう。三年間とても楽しい時間を過ごさせてもらい、みんなからもらったことを教えてもらいました。本当にありがとうでございます。四月からは高校生です。あつという間に時は流れていきます。目の前の一瞬一瞬を大切に、自分の力を伸ばしていきましょう。最後に、茨高の建学の精神は何ですか？これからみなさん学び、その学びをたくさんの人に恩返しできるように。みなさんの今後に期待をこめて。



中学三年学年付
関 佑太

今年から学校生活を共にすることになって一年。たった一年でしたが、体育祭や研修旅行といった大きな行事を通して、君たちの大きな成長を感じることができました。高校に進学すれば、また新しい友人と新しい制服で新たな一歩を踏み出すことになります。不安もあると思いますが、活力ある君たちならはきつと大丈夫！高校での活躍も楽しみにしています。



中学三年学年付
鈴木 裕太

ご卒業おめでとうございませう。皆さんにとって中学校三年間の生活はどうでしたか？楽しい思い出だけでなく、辛かったことや、苦しかったこともあるかと思いますが、それらから多くのことを学び、考えることによって人として成長していることを普段の様子から窺うことができます。皆さんと出会って一年ですが、私もたくさん皆さんの思い出をもらいました。ありがとうございます。新しい一歩を踏み出す皆さんのこれからも幸多き事を願います。



中学三年学年付
江畑 暢之

皆さん、中学校ご卒業おめでとうございませう。この日を迎えられたことは、決して君たちだけではなく、ご両親あつてのこと、感謝の心を忘れないでください。皆さん、この三年間での友達との思い出や、先生方との出会いは、これから皆さんの人生においても大切な宝物です。高校に進学することは不安もあるかもしれませんが、自信を持って挑戦してください。夢に向かって一歩ずつ進んでいく姿を、今後も見守っていきたいと思います。改めて卒業おめでとう。





3年間を振り返って



中学三年A組
武井 詩



中学三年B組
海老沢奈々



中学三年C組
高柳祐一朗



中学三年D組
小清水千紘

中学校に入学して、もう三年生が終わりそうですね。茨城中学校に入学してきたのがついこの前な気がして、私は中学校卒業なんて信じられません。信じたくないです。ツインリンクもてぎ、福島、奈良京都と色々な場所に行きましたね。遠足以外にも、クラスマッチ、体育祭、合唱大会、定期試験、定期試験なんてもう皆さん十八回くらいやったんですよ！よく考えたら結構時間は経つてますね。私は、最初入学したときは突然小学校の友達がいなくなつてすごく不安だつたんですが二十八期生はみんな優しく、面白くて、不安はすぐ吹っ飛んで楽しい中学校生活が送れました。高校生になつても変わらずこのメンバーで過ごしていきたいです。

小学校とは全く違う生活スタイルに慣れるところから始まった中学校生活。振り返ってみるともう卒業なのが信じられないくらい本当にあつたという間の三年間でした。入学したときの不安とは裏腹に沢山の友達に囲まれ、毎日が青春の日々だったなと感じます。初めての部活も経験し先輩や後輩との関わり方も学べ、成長もすることができたと感じます。多くの先生方や家族に支えられて充実した三年間を送ることができました。四月からは高校生。様々な人への感謝を忘れずに後悔のないよう一日一日を大切にしながら生活していきたいです。高校生になると大変なことが慣れないことがたくさんあると思いますが、二十八期生全員で乗り越えていきましょう！

中学校生活を振り返るとあつという間の三年間でした。一年生のクラスでは同じ小学校出身者がおらず不安と緊張で一杯でしたが、すぐに多くの友達ができ、楽しい中学校生活のスタートを切ることができました。部活動のテニス部では、日々の練習を通して先輩との関わりが生まれ、合宿や大会に参加することで悔しい気持ちを味わいました。また、林間学校や研修旅行では、最高の友達と最高のひとときを過ごし、忘れられない思い出です。さらに、学級委員長や体育祭の団長を務めたことは、みんなで目標に向かって団結しやり遂げる達成感を得るとともに、自らも成長できた貴重な経験となりました。

高校に進学してからは、積極的に将来の夢に向かって努力をし、自分を成長させていきたいです。中学三年生として生活したこの一年間は私の三年間をタイムラプスで撮影した様な集大成と言える一年であつたと記憶しています。本学の生活では大変面白い事案が多くありました。多角的な授業に気骨のある学友や軌轢。どの経験も私には目新しいものであり、実に興味深いものでした。私は様々な事柄を経験していくうちにこれらの事案は薄弱であつた自我を深化させる上で大切な事柄であつたのだと思いました。又今年度は視野が広がる機会を多く頂いた事により私は一層研鑽する必要があると感じました。一方身近な家族や親友の重みを認識する機会でもありました。銀世界のようであつた私の人生に鮮やかな色彩を加えてくれた三年間でありました。



神永 和代
菊地 珠央
西 佳菜子
森 一恵
廣江 睦子
藤田 晴美
磯崎 千晶
吉田 恵子
村上 睦美
青木雄二郎
小野美智子
植野由紀子
平澤 貴子
菅原 友紀
菅原 友紀
雨谷恵美子
田山 愛
茨城高校

野村 優子
千勝 恵美
深谷恵梨花
海野 祐子
田口 優子
古川優美子
七字 一子
四倉 倫子
田辺 明子
皆川 幸子
住谷 郁
中島由美子
山口 尚子
四倉真理子
園部 洋子
大友加奈子

久田 幸子
植木 理恵
穴戸 智美
齋藤 淳子
寺門 泉
高橋 浩代
河井 静子
野澤 恭子
小石 園子
額賀 朋美
熊久保理恵
大山 恵美
幡谷 歩
鈴木恵美子

野村 優子
千勝 恵美
深谷恵梨花
海野 祐子
田口 優子
古川優美子
七字 一子
四倉 倫子
田辺 明子
皆川 幸子
住谷 郁
中島由美子
山口 尚子
四倉真理子
園部 洋子
大友加奈子

野村 優子
千勝 恵美
深谷恵梨花
海野 祐子
田口 優子
古川優美子
七字 一子
四倉 倫子
田辺 明子
皆川 幸子
住谷 郁
中島由美子
山口 尚子
四倉真理子
園部 洋子
大友加奈子

野村 優子
千勝 恵美
深谷恵梨花
海野 祐子
田口 優子
古川優美子
七字 一子
四倉 倫子
田辺 明子
皆川 幸子
住谷 郁
中島由美子
山口 尚子
四倉真理子
園部 洋子
大友加奈子